

情報公開内容

1 課題名 : **Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration (B-RTO) for gastric varices** (胃静脈瘤に対するバルーン下逆行性経静脈的塞栓術 (B-RTO) についての検討)

本研究の目的

胃静脈瘤に対する B-RTO は有効性と安全性が確立された手技で、本邦においては広く行われている治療法ですが、胃静脈瘤の血栓化に要する時間や血栓化の影響因子、治療による門脈圧の変化など未だに議論の余地があります。これらを解明することにより、より安全で効果的な治療が可能と考えます。

本研究の対象

2013年4月から2015年3月までに広島大学病院で胃静脈瘤に対し B-RTO が行われた患者さん

本研究の意義

本研究により B-RTO における胃静脈瘤の血栓化に要する時間や因子が解明することができれば、より適切な治療時間を選択することができ、患者さんの負担軽減につながると考えます。また、治療による門脈圧の変化を解析することで、合併症の軽減に寄与すると考えます。

研究の方法

上記期間中に胃静脈瘤に対し B-RTO が行われた患者さんを対象に電子カルテ、画像、臨床データファイルから血液学所見、血管解剖、門脈圧、短絡路圧、治療成績、合併症、生存期間を転記し比較検討します。

○ 研究期間 平成 26 年 12 月 4 日 (委員会承認後) ~29 年 3 月 31 日

個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：助教 石川雅基 (研究責任者)

職名：助教 吉松梨香 (研究担当者)

連絡先電話番号：082-257-5257